

食は、

まぢぢら、まぢぢら



-35-

### 伝えよう感謝の気持ち

#### 美山中学校「給食週間」の取組

4時間が終わると、生徒たちが足早にランチルームに向かってきます。身支度を整え、しっかりと手を洗ってランチルームに来ると、素早い動きで給食の配膳にとりかかります。

「早くしようー」と自分たちで声を掛け合い、お盆にはあつという間に配膳された給食がきれいに並びます。食べ始めると、楽しく会話をしながら、残さずきれいに食べます。毎日忙しい日々を送る中学生にとって、給食はホッと心が和む時間になっているようです。



▲テキパキと配膳する生徒

美山中学校では、毎年1月に給食週間を設定し、給食について考える時間を持ちます。今年は、日頃給食でお世話になっている調理員の武田節子さん、配送担当の片山正一さんを招き、一緒に給食を食べて交流を深めました。

お二人からは薄味でもおいしく仕上がるよう出汁の取り方を工夫しておられることや、調理・配送で気を付けておられることなどをお話いただきました。生徒からは「僕たちのために、いつもおいしい給食をありがとうございます。これからもよろしくお願いします」という言葉とともに、全校生徒一人一人の感謝の気持ちを書いたメッセージカードを渡しました。



▶一緒に給食を食べて交流する様子

▶メッセージカードを受け取る武田さんから

受け取ったお二人は、「これからも安心・安全でおいしい給食をお届けできるように頑張ります。皆さんも勉強やスポーツに励んでください」と話されていました。また、生徒会保健部の活動では、全校生徒に好きな給食アンケートを実施し、人気のあるメニューを4つに絞りました。そのメニューについて、調理員さんに作り方や工夫していること、苦労していることなどを聞いてまとめ、ランチルームに掲示しました。



▲メニューについて調理員さんに聞き取りをする様子

生徒からは「給食がとても丁寧に作られていることが分かった」「手間がかかっている給食が毎日食べられることに感謝したいし、家でもお手伝いをしたい」といった感想があり、大量調理の大変さや、毎日温かい給食が食べられることへのありがたさを感じたようでした。

### 美山の給食

昭和59年に美山学校給食共同調理場ができてから、今年で36年目を迎えました。早くから中学校給食を導入し、平成28年度からは新しい調理場により美山小学校、美山中学校に給食が届けられています。長年にわたり、安心・安全でおいしい給食が提供できているのは、調理員の皆さまの努力と地域の方々との協力があってこそだと思います。お米をはじめ、卵やこんにゃく、季節の野菜など、美山の食材をいただけることは、本当にありがたいことです。今後も、給食が子どもたちの成長の一助となるよう、工夫した献立の実施や衛生面・安全面に配慮した給食指導を進めていきます。



▲美山の郷土料理として給食に出す栃もち(左上)

問い合わせ先  
南丹市食育推進委員会  
(事務局・保健医療課)  
TEL (0771) 68-0016